

科目名		総合実習 1							年度	2025
英語科目名		General Practice 1							学期	前期
学科・学年		デザイン科 イラストレーション専攻 1 年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員		遠藤利菜、藤田祐子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		イラストレーター、版画家		
【科目の目的】										
・イラストレーションの基礎的なスキルを身につける ・実践的な課題制作を通して視覚伝達デザイン／イラストレーションの表現特性を理解する ・自分の作品を言語化し人に説明することができる										
【科目の概要】										
イラストレーショの課題制作を通して、表現特性について学ぶ										
【到達目標】										
A. 技術力/課題内容と表現特性に合わせた制作技術を理解し、実践できるようになる B. 思考・発想力/課題条件に合わせた論理的思考に沿った、効果的な表現ができるようになる C. 企画力/複数のアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができるようになる D. 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける										
【授業の注意点】										
クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。										
評価基準＝ループリック										
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	表現特性に合わせた技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	表現特性に合わせた技術を理解し、丁寧に制作している	表現特性に合わせた技術を理解し、制作している	表現特性に合わせた技術を理解しているが、形として不十分	表現特性に合わせた技術ついでの理解が不足している					
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分					
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の検証が不十分	アイデア、デザイン内容の検証が共に不十分					
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考慮してスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができない					
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない					
【教科書】										
課題ごとに資料を用意する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		総合実習 1				年度	2025
英語表記		General Practice 1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	イメージを形に自己紹介イラスト	思い描いたことを表現するため、アイデアや情報をまとめる	1 自己紹介	自己紹介できる		2	
			2 自己紹介イラストラフ	アイデアラフスケッチができる			
			3 チェックを受ける	途中チェックを受ける			
2	イメージを形に自己紹介イラスト	ラフスケッチを元に、最終的な用途にあわせた表現をする	1 自己紹介イラスト下書き	イラストの下書きができる		2	
			2 自己紹介イラスト清書	丁寧に清書することができる			
3	イメージを形に自己紹介イラスト	プリントアウトされた作品を冊子にまとめ、原画と印刷されたものの違いを理解する	1 自己紹介イラスト清書	丁寧に清書することができる		2	
			2 冊子にまとめる	プリントアウトされた作品を冊子にまとめる			
			3 完成・提出	完成し、提出することができる			
4	同一モチーフを様々な画材で描く	原画となるデッサンを描く	1 デッサン	対象の構造を理解し、正確で丁寧な描写ができる		2	
			2 完成・提出	完成し、提出することができる			
5	同一モチーフを様々な画材で描く	水性ペンを使い、原画をベースとしたペン画を描く	1 トレース	原画を丁寧にトレースし、転写する		2	
			2 表現計画	描くものと描かないものを計画することができる			
			3 ペンによる清書	ペンならではの表現を理解し、表現することができる			
6	同一モチーフを様々な画材で描く	水性ペンを使い、原画をベースとしたペン画を描く	1 ペンによる清書	ペンならではの表現を理解し、丁寧に描くことができる		2	
			2 プレゼンテーション	自分の作品について説明できる			
			3 完成・提出	完成し、提出することができる			
7	同一モチーフを様々な画材で描く	水彩色鉛筆を用い、原画をベースとした水彩イラストレーションを描く	1 画材特性の理解	水彩色鉛筆の使い方を理解できる		2	
			2 表現計画	アイデアラフスケッチを描く			
			3 下絵	ラフや原画をベースに下絵を描くことができる			
8	同一モチーフを様々な画材で描く	水彩色鉛筆を用い、原画をベースとした水彩イラストレーションを描く	1 トレース	下絵を丁寧にトレースし、イラストボードに転写する		2	
			2 描画と着色	水彩色鉛筆を使い、丁寧に着色することができる			
9	同一モチーフを様々な画材で描く	水彩色鉛筆を用い、原画をベースとした水彩イラストレーションを描く	1 着色	水彩色鉛筆を使い、丁寧に着色することができる		2	
			2 プレゼンテーション	自分の作品について説明できる			
			3 完成・提出	完成し、提出することができる			
10	同一モチーフを様々な画材で描く	オイルパステルの画材特性を理解し、下地材の特性を知る	1 画材特性の理解	オイルパステルの持つ歴史を知り、また特性を知る		2	
			2 支持体の制作	イラストボードに下地材を丁寧に塗布する			
11	同一モチーフを様々な画材で描く	オイルパステルの画材特性を使い、原画をベースとしたイラストレーションを描く	1 表現計画	アイデアラフスケッチを描く		2	
			2 下絵	ラフや原画をベースに下絵を描くことができる			
12	同一モチーフを様々な画材で描く	オイルパステルの画材特性を使い、原画をベースとしたイラストレーションを描く	1 トレース	下絵を丁寧にトレースし、イラストボードに転写する		2	
			2 着色	オイルパステルを使い、丁寧に着色することができる			
13	同一モチーフを様々な画材で描く	オイルパステルの画材特性を使い、原画をベースとしたイラストレーションを描く	1 着色	オイルパステルを使い、丁寧に着色することができる		2	
			2 プレゼンテーション	自分の作品について説明できる			
			3 完成・提出	完成し、提出することができる			
14	作品の保護・保管法	これまで描いてきた作品を物理的にもデジタルデータのにも保護・保管する方法を学ぶ	1 撮影	作品を撮影する際の留意点を理解し、実行に移す		2	
			2 パーニッシュの塗布	油性画材に対する保護剤の知識を備え、実行に移す			
15	ふりかえりとまとめ	これまでの制作を振り返り、それぞれの特性についてまとめる	1 ふりかえり	これまでの作品を並べ、それぞれの画材特性を改めて理解する		2	
			2 レポート	自分自身の考えをまとめて文章に置き換える			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等